

日本銀行本店と貨幣博物館 見学会

横浜市 中島幸雄（寺町二丁目出身）

重要文化財に指定されている日本銀行本店、旧館地下金庫、日本銀行関連の多様な史料を展示した展示室、営業場など日本銀行およびわが国の古代から現代までの様々な貨幣や貨幣に関する資料、海外的珍しい貨幣などを展示した貨幣博物館を九月三十日に、第九回Jネット勉強会としての見学会をおこないました。

当日は生憎の雨模様でしたが、約二十名の参加を得ました。

日本銀行は東京都中央区日本橋石町（地下鉄銀座線の三越前から徒歩五分）に在ります。三越前に十時三十分集合。

十一時から日本銀行の見学です。

荷物はロッカーに入れ、セキュリティチェックを受け館内に入りました。

日本銀行の役割の説明を受けた後、

（日本銀行は政府から独立した法人で、公的資本と民間資本により存立する。資本金は一億円で政府が五五%、民間が四五%出資、発券銀行として、日本銀行券の発行と管理、金融政策の実施その他）館内の説明付き見学がありました。

明治十五年（一八八二年）十月十日、日本銀行が開業し第一代総裁が吉原重俊氏で、現在の白川方明総裁が第三十代です。

廊下にはそれぞれの総裁の肖像画が飾られておりました。昔の会議室、営業室、貨幣保管室、地下金庫（関東大震災時も壊れませんでした。但し火災への放水に抛る水漏れの痕は見られました。）等の説明案内が約一時間ありました。

建物は東京駅を設計した辰野金吾博士で建築様式はルネッサンス様式を取り入れたバロック建築です。ベルギーの中央

銀行の建物を手本に設計されているそうです。

十三時三十分から貨幣博物館の見学があり、説明案内人が付いてくれました。わが国の貨幣の主な変遷を次に書きま

す。
古代は物々交換でした。物品貨幣として使用された物には石製の矢じりや稲、麻布、砂金その他日用品等がありました。しかし不便なので、少量でも価値が高く変質し難い金銀銅などの貨幣が作られるようになりました。

大化の改新以降七〇八年わが国初の貨幣として皇朝錢：和銅開珎（形は唐の開元通宝を模倣）が製造されましたが、（六八三年天武天皇の頃に富本錢が在ったらしい）十世紀に入り政府が発行する錢貨の製造が停止され、鎌倉幕府の頃中国からの渡来錢が盛んに流通しました。

一三三八年 室町幕府が成立し戦国武将達が貨幣を作り出しました。

一五〇〇年頃 甲州武田氏が「甲州金」を鑄造

一五八八年 豊臣秀吉が「天正大判」

を鑄造（最初の大判）。上杉氏も独自の小判を鑄造しました。

一六〇〇年頃 伊勢国で日本最初の紙幣「山田羽書」が流通

一六〇一年 徳川家康が慶長金銀を發行（金銀貨の全国統一）

一六〇三年 江戸幕府が成立

一六六一年 福井藩が「藩札」を発行（現存する最も古い藩札）

一六七〇年 江戸幕府が銅錢を「寛永通宝」に統一（三貨制度の完成）

一六九五年 江戸幕府、初の金銀貨改鑄（元禄の改鑄）

一七三六年頃 金の品位を落とす改鑄で通貨の供給量を増加二元

文小判

一八六七年 徳川慶喜による大政奉還

一八六八年 明治政府「大政官札」發行



中島幸雄さん

一八七二年 新貨幣例による金銀貨発行(円の制定)

一八八二年 日本銀行開業

一八八五年 日本銀行券の発行開始

一八九七年 貨幣法公布(金本位制度確立)

一九二七年 金融恐慌発生

一九四一年 太平洋戦争勃発

一九四二年 日本銀行法施行(管理通貨制度確立)

一九四六年 旧円券を回収して新円券に切り替え

一九五八年 一万円券発行により高額紙幣時代に入る

二〇〇〇年 二〇〇〇円券発行

二〇〇四年 銀行券三種同時改刷

世界で最初の金属製の貨幣は紀元前七世紀前後に中国やリディア(トルコの西部)で出現したとされています。西洋最古のコインは紀元前六七〇年頃、リディアで作られた「エレクトロン貨」で、東洋では刻印や銘の無い鋳の形をした「布幣」が紀元前七七〇年頃中国・周王朝時代に作られたとされています。

古代の大きい石の貨幣、世界の各種貨幣、多角形の貨幣、裏白紙幣(一九二七年四月二十五日に金融恐慌対策として日本銀行が発行)、偽札鑑別、江戸時代など

旅人が泥棒避けに貨幣を刀の柄に隠す方法など我々が知らなかった知識を得られた一日でした。



日本銀行旧館



紙幣の歴史



日本銀行旧館前で



中国銭の使用



貨幣博物館